

活動名：第21回NACカップU12

日程：令和5年7月1日（土）・2日（日）

会場：小野町町営多目的グラウンド

参加：T6・L100 16名

帯同：熊坂コーチ

サポート：貝和コーチ

結果：初日・リーグ戦

VSリガーズFC 2：1

VS富田東SSS 4：0

※予選リーグ1位通過

2日目・1位トーナメント

準決勝 VS猪苗代SSS 4：0

決勝 VS天栄SSS 1：3

最終順位 準優勝 2位／12チーム

報告：熊坂

テーマ

参加者をなるべく平等に出場してもらう為に前半T6選手、後半L100選手という編成で挑むがチーム一丸となって勝利を目指して全力で戦い抜くこと。
ベンチにいてもチームの為に出来ることを精一杯取り組むこと。
ミスを恐れずに積極的なプレーでチャレンジしていくこと。
対戦する相手を一人一人明確にし、責任を持って対応すること。
暑さが厳しい試合でも相手に運動量で負けないように走ること。

良かったところ

この大会ではチームの結果よりも選手の経験を重視して挑みました。
もちろん勝利を目標にして戦うことを求めましたが決勝へ進出するとは思っていませんでした。これは選手達が私の想像を超えるパフォーマンスを発揮してくれたことが大きな要因だと思います。

T6クラスの選手達は普段はどこかL100に遠慮気味にプレーしていました。
前半と後半で入れ替えることでT6クラスの選手達が自分達で何とかしなければという想いが芽生えたこと、また後半にL100が控えている安心感もあり思い切ってプレー出来たのではないかと推測します。

T6クラスの選手達には前半0点で抑える事が第一目標とし、その中で良い形でボールが奪えたら得点を目指そうと伝えていました。

4試合の中で前半に失点したので決勝戦だけでした。

3試合目では得点も奪ってくれました。

試合で目標を達成していくことが自信となり顔つきやプレーに変化が見られました。目を輝かせて必死にプレーしている姿がとても印象的でした。

L100の選手達は前半のT6クラスの選手達の活躍に刺激を受けて自分達が試合を決めてくるんだと強い責任感を持ってプレーし、実際に試合を勝利に導いてくれました。前半もベンチからとても大きな声でサポートしてくれていました。

さすがトップクラスだなと感心させられました。

決勝戦後の号泣する姿。

あの涙でL100の選手達は大きく成長すると感じました。

悔しさを糧に必ず成長してくれると信じています。

前半と後半で編成を変えましたが勝利という一つの目標を共有し、一人一人が自分の出来る精一杯のプレーをし、仲間を信じ、支え合いチームがまとまった結果の準優勝。6年生にとっては悔しさもあるかと思いますがそれ以上に素晴らしい思い出になったのではないのでしょうか。

準優勝、おめでとうございます！

日々の練習から判断をして向ているポジションをやらせてもらっていたつもりでしたが、違うポジションをやらせてもらうことができました。

違うポジションもこなせていましたのでチームとしての幅が広がる発見が出来たことが良かったです。

多くの選手がゴールへ向かうプレーを見せてくれました。

人まかせにせず自分が決めるんだという想いが伝わってきました。

大会ではいつも伝えていることなので少しずつ意識付けが出来てきたのかなぁと思います。「継続は力なり」ですね。

この大会で得た自信、嬉しさ、悔しさを忘れずにこれからも頑張っていきましょう。今後の大会ではみんなが笑顔で締めくくれることを楽しみにしています。

課題

今大会でもミスが絡んでの失点がありました。

特に浮球の処理が出来ていない事が多かったです。

ボールの落下地点を見極めて、ボールを怖がらずに対応することが大事です。

ボールの落下地点を見極める（空間認知能力）には沢山練習して感覚を養うしかありませんので苦手な方は取り組んで欲しいと思います。

ドリブルで抜け出してシュートという場면을沢山作ってくれていましたが決定率が・・・。

シュートを打つタイミングやGKの位置を確認して空いているコースを見つける

こと、GKとの駆け引きといったことが出来てくると決定率も上がってくるのではないかと思います。

焦らず、冷静に見極めてシュートが打てるように努力していきましょう。

出来事

決勝戦の後半に100の選手達を送り出しましたが、負けていることで緊張や焦りが見え本来の力を発揮出来ませんでした。

前半やハーフタイムに色々な話をしましたが選手達の力を発揮させることが出来なかった為に負けてしまったのは私の責任です。

選手の皆さん、ご父兄の皆様、大変申し訳ありませんでした。

コーチ：熊坂



